

平成 31 年（令和元年）度 教育課程編成委員会 議事録（1 回目）

実施日：令和元年 6 月 18 日（火）13：30～16：30

（理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分）

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティースクール 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティースクール 校長）
藤浦公明（愛知県理容生活衛生同業組合 事業部長）
伊藤広昭（学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭）
富田 守（㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー）
加藤千明（全日本美容講師会愛知県支部 事務局長）
山口 孝（アリアーレビューティースクール 広報主任）
森山郁子（アリアーレビューティースクール 教務主任）

欠席者：委員 伊藤秀樹（中部理容美容教育団体協議会 会長）
令和元年 7 月 16 日（火）にアリアーレビューティースクールにて
意見等を聴取し会議について報告する。
高橋秀典（アリアーレビューティースクール 美容科チーフ）
令和元年 7 月 17 日（水）にアリアーレビューティースクールにて
意見等を聴取し会議について報告する。

順不同

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）第 11 回全国理容美容学生技術大会 東海地区大会の告知
- （4）平成 30 年 学園広報誌の説明
- （5）通信課程「短期集中コース」の説明
- （6）平成 30 年度自己評価の報告
- （7）その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見等を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

- （8）閉会

終わりに、校長から平成 31 年（令和元年）度は第 2 回目を令和元年 12 月に行う
予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

職業実践専門課程の運営をする上で、それに相応しい教育に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○加藤千明 委員

(7)の学生の受け入れ募集ですが、私が所属している愛知県美容組合（中部美容専門学校）では昨年新設した夜間課程（2年）、夜間通信課程、理容修得者課程を一度募集したきりで廃止しました。2～3名しかいないクラスでは夜間で警備費もかかる（2名は必要）という面もあり採算が合わない。理事の見切り発車で無理な事をするところのような事になる。(3)の教育活動、(11)の国際交流ですが、海外研修でヴィダルサスーンに行かれたそうですが金額はどのくらいかかりましたか？どんな感じで研修に行かれていますか。

(学校側)：弊校は新設どころか現状の設置学科の定員充足率さえ大きな問題なので・・・。
出願者・入学者の数の減少から「数」を集める施策に走ると余計に負のスパイラルに陥り、「価値」が下がり「数」も一層下がる。景品などでイベントへの集客を行ったり、流行に追随した学科の新設、過大な広告や勧誘、学費の値下げは避けたいと思っております。魅力を上げる、他校と差別化、高校生に正しく伝える売り方を考えていますが難しく、海外研修においては5泊7日でフィンランド航空です。今までは研修と言えども2時間ぐらいのもので相手側からの一方通行のセミナーでしたが今年3月の研修からは丸1日かけての研修になりました。午前中は講義形式で午後はその実践です。学生1名にロンドンのモデルさんが1名ついてのシャンプーからカット、ブローで最後はモデルさんとの記念写真を撮りました。16名学生が参加したのですが、その16名分のイギリス人16名がいるのはビックリしました。学生は会話も一生懸命がんばり良い経験だったと思います。金額は約30万円でした。

○伊藤広昭 委員

(7) 学生募集の件ですが、現在の貴校の極めて低い定員充足率で高等教育無償化の対象校になることができるのですか？対象となる学校の要件はクリアしているの

ですか？無償化の準備をしないのですか？通信短期コースはおもしろい取り組みでいいのではないのでしょうか。パンフをもっといただいて帰りたいと思います。

(10) の社会貢献・地域貢献及び(3) 教育活動において色々な活動をされているが、弊社菊華高校でも同法人内の大学等とは産学連携をしているが他の法人とのからみでは教職員研修等で星槎大学とタイアップをしています。

(学校側)：定員の充足率に関しては2年前の第三者評価を実施した際にも、大幅に下回る定員充足率を改善する取り組みについて評価を受け、入学定員と実入学者数との関係の適正化が十分に図られていないと指摘されているにも関わらず特に何ら抜本的対策を打っているとは言えない状況です。無償化のこともあり、そこが弊社にとって大きなポイントの1つだと思っています。無償化対象校の機関要件の確認事項としては他に決算書の経常収支がマイナスでないことや資産と負債の差額がマイナスでないこと、また外部理事の複数名選任もアリアーレにとって要件を満たしているかどうか少し気がりではありません。先日、ある進学ガイダンスで愛知美容専門学校さまとミスパリ・エステティック専門学校さまが共同でクリアファイルを手掛けていました。同じような分野同士での連携に少し戸惑いました。当然お互いにとってメリットがあるから成り立つものだと思います。少子化に向けて高専接続や上級学校同士の連携は今後ますます顕著になるかもしれません。通信短期コースは、少しでも早く免許が取れる、働きながら学ぶ大変さの解消や理容・美容のW免許を目指す中で活用する方が多いです。1週間通しの集中授業なので遠方の方も名古屋に滞在しながら勉強されています。自動車の合宿免許に似ています。

○富田 守 委員

(1) の教育理念・目標ですが目指す人物像がどうして理容科と美容科で違うのですか？なかなか厳しい自己評価をされていますが、これらをオープンにすることで逆にマイナスになるような事はありませんか？

(学校側)：教育理念に基づき、社会における顕在・潜在ニーズを踏まえて、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針を定め、公表しているがその具体的な項目としてアドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)、カリキュラムポリシー(教育内容・方針)、ディプロマ・ポリシー(卒業認定基準)があります。アドミッションポリシーとディプロマ・ポリシーは理容科・美容科別々にあり、評価表記載はアドミッションポリシーになります。先ほども申し上げましたが教育理念に基づき作成しているので理念の抽象的な部分をより具体的に理容科・美容科それぞれの特徴を生かして記載しています。評価表等を

公表することによるマイナス面ですが、公表すること自体が悪い事とは思いません。要はその中身ができていないから悩むことは当然あります。本当は自信を持って公表することが他校との差別化になるのですが定員充足率や退学率は本当に気になります。かと言って学校に対して付度することはありえないし、それこそ外部関係者に失礼だと思います。

○藤浦公明 委員

評価項目(10)の社会貢献・地域貢献ですが色々がんばっているのはよくわかります。私たちも福祉施設・病院等へ施術に行くが、精神障害者や身体障害者の方へのサービスは細心の注意が必要です。

(学校側)：きれいになりたいのは、なにも若い人ばかりでなくお年寄りでも障害者でも同じことだと思います。理容師法・美容師法施行令では病院や婚礼会場でのサービスを認めています。度道府県レベルの条例では司法機関が求める留置人や演芸・興業等に付随したサービス、社会福祉施設等を認めているところもあります。今後、少子高齢化社会において私たち理容師・美容師が活躍する範囲は広がっていくものと思います。少しでも様々な経験を学生には積ませてあげたいと思っております。

以上
記録：山口

平成 31 年（令和元年）度 教育課程編成委員会 議事録（2 回目）

実施日：令和元年 12 月 9 日（月）13：30～16：30

（理容科に対する質疑 13 時 30 分～15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分～16 時 30 分）

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティィー専門学校 校長）
藤浦公明（愛知県理容生活衛生同業組合 事業部長）
伊藤秀樹（中部理容美容教育団体協議会 会長）
伊藤広昭（学校法人 菊武学園 菊華高等学校 教頭）
富田 守（㈱さんぽう 名古屋支社 経営企画グループリーダー）
加藤千明（全日本美容講師会愛知県支部 事務局長）
山口 孝（アリアーレビューティィー専門学校 広報主任）
森山郁子（アリアーレビューティィー専門学校 教務主任）
高橋秀典（アリアーレビューティィー専門学校 美容科チーフ）

順不同

委員会次第（概要）

- （1）開会
- （2）学校長挨拶
- （3）前回会議からの半年間の学校運営、かつ意見聴収した点に対するフィードバック
- （4）外国人留学生受け入れの説明（山口より）
- （5）高等教育無償化の説明（森山より）
- （6）今年度及び来年度に向けての教育・教務についての説明（高橋より）
- （7）その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

- （8）閉会

終わりに、校長から令和 2 年度も年 2 回開催する予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○伊藤広昭 委員

今期通信生の入学者数及び来年 4 月昼間生入学見込み数の報告の中で、学校訪問の効果測定の話が出ましたが、広報の方が来校されてもそれらの情報を生徒たちにフィードバックすることはない。就職希望者が 60 名前後いるが就職希望者には求人内容等必ず伝える。進学は希望者が多いということもあり言わない。パンフレット・ポスターはクラスに掲示するのでクラス分ほしい。1 つだけだと廊下に置くだけになる。現在各学年 6 クラスある。訪問時期ですが、7 月第 1 週は企業側が求人票を持って行列ができるのでダメなので 7 月は就職の事でいっぱいになる。9 月 16 日までは進学系はやめてほしい。美容系の進学は中日一人勝ちのような気がします。中日ばかり行く。

(学校側)：学校訪問後の貴校の流れを教えてください、ありがとうございます。訪問する目的をどのように持つかを考えていけば価値あるかもしれませんが、そこに募集という概念が入るとすれ違いが起こるかもしれません。パンフレット等クラス分置いて頂ける学校なんて、そうあることではないと思います。ありがたいことだと思います。就職に対して対応が厚くなるのは弊社でも同じで卒業し、就職してからが人生長いので学校選び以上に就職先選びが大事である旨は伝える事があります。

○伊藤秀樹 委員

外国人対応の話が出ましたが、内閣府の国家戦略特別区を使った外国人理美容師の受け入れの提案を大阪府と新潟市が行っています。国家資格を取得しても就労できない現状に対し、地方からの動きがある。外国人は資格よりノウハウが知りたいのではないかと。接客も技術の 1 つとして学んでほしい。学びの工夫・改善ですが、理容科にも着付けとメイク（ヘアメイク）を導入してもいいと思うし、技術大会への考え方もサロンワークだけいい、普通の店でやるだけならなかなか価値が見いだせないが、こまやかさやコントラストの学びに活かすならがんばった方がいいと思います。リラクゼーションコースのシェービングですが美容師でもシェービングは付随した行為に伴えば施術可能なので学んでほしい。

(学校側)：就労に関しては、今は制限がありますが今後広がりを見せていくのはおそらく間違いがないと思います。できる限りの準備はしていきたいと思います。教育に関しても、授業の一環として取り組むならば学校側が目的をしっかりと持って生徒に伝え、行っていきたいと思います。学びの広がりには理容も美容も同じだと思うので、

どちらの学生にもできるように工夫していきます。

○富田 守 委員

日本語学校は今年も数校増えています。留学生の進学先としてはホテル・自動車・ビジネス・観光系が多い。アリアーレ以外の理美容学校で積極的に対応しているのは 0（ゼロ）。教育面ではインターンを充実させ、サロンで学びの交流があるのはいいこと。インターン先も自分で選べるのはいい。通常の学びを火曜日～金曜日に集約させ、月曜日を毎週スポット的に授業メニューが変わり、それらを学生が選択できる制度はあまり聞かないのでいいと思います。

(学校側)：外国人の皆さんに対しては、資格・免許に留まらず、日本のサービス・文化を伝えられるような形で迎え入れると喜ばれるのではないかと思います。午前中の会議でも話題に上がりましたが昨年以上に問い合わせが多く発生しています。日本人に対しても外国人に対しても求められるものを求められる形で迎えないと問い合わせで終わって入学にはならないと思っています。月曜日選択制は授業の選択だけでなく別に選択せず休むことも選択できる制度です。ですから 3 連休にもなります。1 回で終了する講義スタイルも気軽にいいと思っています。

○加藤千明 委員

外国人や教育課程等さまざまな方向・課題が報告されましたが、愛知県美容組合は運営体制が理事長変更や副理事長の問題で、今後の方針が学校・組合ともそこまで行っていません。校長や事務局長も辞めたいと言っているぐらいで、内部の引継ぎで年内いっぱいかかるのでないでしょうか。聞いていることとしては、現在 1 人入学させるのに 38 万円かかっているが、それを 33 万円にしろと言われていました。来春の生徒数は少し前までは前年に比べ 40 名ほど減っていましたが、販促の号令がかかって現在は 1.2 名足りないところまできているようです。ポスター掲示をサロンにはお願いしていますが、店主に言うより見てくれたお客さまに訴えかけています。無償化は中部美容も始まりますが、留学生への対応はアリアーレまでは行っていません。学校別卒業生の離職の割合を出しており、中日美容出身者の離職率が高いことがわかっています。

(学校側)：学生募集に関しては 10 月通信生が 79 名、来春の昼間生は理容・美容合わせて 30 名を少し超える程度になると思います。今年の昼間生よりは増えると思いますが、美容科の減少率改善はほど遠いです。入学者 1 人当たりの経費はどのような計算方法でされているのか存じませんが（単純に募集費から入学者数を出しているのか）、いずれにせよ弊校が現在明確に「1 人当たりの経費」の計算方法を持つ

てはしません。外国人留学生受け入れについては、今月の入学試験に合わせて筆記試験内容や面接の質問内容を詰めている段階です。

○藤浦公明 委員

三河地区でもベトナム・台湾のお客さまがいましたが、製造業の世界でも AI 等技術の発展で部品が減り、企業同士も合併で人手が足りない状況になりつつあります。当然、お客さまは減りますし外国人はカットだけ（シャンプーすらいない）、組合外のサロンに行っても値引きしてくる状態です。学びに関しては、今の学生は就業者としての対応が鈍いような気がします。技術は努力次第だが、お客さまに対する接点の持ち方、それに合わせた会話のあり方等「接客業はこうだよ」というものを取り入れたらどうか。技術大会で悔しいと思うなら続ければよい。先生 1 人 1 人の意識、小さな学校の特徴を出してほしいと思う。

(学校側)：ビジネスはお客さまがすべてなので、「学びたいことが学べる」がまずは大前提になります。そこに理容業・美容業というまでもなくサービス業であり、ただサービスという言葉は知っていても、その本質を理解していない人が多いと思います。サービス業は他の業種と比べて留意事項が多く、管理も難しいため経営は簡単ではないです。しかしポイントを間違えなければ、小規模の店でも成功をおさめることが可能です。サービスとは「よい経験の提供」であり、受け手である顧客の経験がすべての評価を決めるものですので、授業でもより工夫してまいります。

以上
記録：山口